



# みどりの風



令和6年9月24日発行

## やる気スイッチで、自分を成長させよう

校長 安藤 晋哉

厳しい暑さや台風の接近など、自然の猛威に翻弄されながらも9月があつという間に過ぎていきます。夏休み明け早々から「体育大会」の練習・準備・本番とハードなスケジュールを乗り越え、実りのある体育大会ができました。生徒たちは「重中 最高!」という言葉で自分たちの心の満足度を表現していました。ご覧になった保護者をはじめ多くの皆さんも、本校生徒の輝く姿と完全燃焼した充実の表情を見ていただけたことと思います。体育大会では親力部の皆さんやPTA役員の皆さんに、ご支援・ご協力をいただいたことに心から感謝いたします。今後も、生徒たちの成長を見守り、学校の教育活動へのご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



さて、本年度は教育課程を大きく変更し、9月24日から3日間、前期の期末テストとして9教科のテストを実施します。体育大会の後でなかなか気持ちの切り替えができず、良い準備ができなかった人もいるかもしれません。

そこで、今回は学校や家庭での生活で「やる気を出すコツ」を紹介します。この話は「脳のメカニズム」に関する本で紹介されたものです。

やる気が出なかつたり集中できなかつたりするのは、脳がもともと人を飽きっぽくするようにできているからなのです。そんな脳の回路を逆手にとり、脳が喜ぶことをして脳をその気にさせることが、やる気を引き起こします。脳をその気にさせるスイッチは5つあります。

1つ目は、**整理整頓をすること**。勉強を始めようとしても机や部屋が乱れていては気分も乗りません。とりかかりやすい場作りが大切です。

### やる気!

2つ目は、**体を動かすこと**。勉強する気にならない時に音読したり、部屋の中を歩いたりすると、体を動かしてみるといいそうです。



3つ目は、**いつもと違うことをすること**。勉強する場所を変えたり、いつもと違う方法でしたりすることで、脳に刺激を与えるのです。

4つ目は、**ご褒美を与えること**。「問題集をここまで進めたらおやつを食べる」など、達成できたら、ご褒美を与えます。

5つ目は、**なりきること**。目標を達成した自分や憧れのスポーツ選手になりきって練習します。思い込みが脳をその気にさせます。

どれもわずかな工夫によって簡単にできます。2学期も始まったばかり、自分を成長させるためにぜひ活用してみてください。

## 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果

4月に3年生を対象に実施された令和6年度全国学力・学習状況調査の結果が先日公表されました。この調査は、国語・数学について1・2年生で学んだことを3年生で確認して、今後に活かしていくという意味合いがあります。本校の調査結果は、国語は県平均を超え、数学は県平均と同様の値でしたが、全国の平均と比べると低い結果となりました。

質問紙では、「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」等が全国よりよい傾向にありました。一方、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」等が低い傾向にありました。今後は課題を克服するとともに、高校入試に向けて生徒一人一人が自分の進路を実現できるように学びの充実を図ってまいります。ご家庭でも協力をお願いします。

令和5年度全国学力・学習状況調査  
(平均通過率)

